

芸術（音楽・美術）教育支援

プロジェクト背景

カンボジアの学校では、これまで音楽・美術は独立した教科でなく、**社会科の一部**に組み込まれていました。

そのため、**授業の時間数が少なかったり**、**教員の知識・経験が十分でないことから授業自体が行われなかったり**といった課題があります。

JHPは、音楽や美術が子どもたちの**豊かな感性、想像力、創造力、コミュニケーション能力**などを育む大切なものであると考え、内戦で教育が崩壊した時代から、普及活動に努めてきました。

2016年のカリキュラム改正で、近い将来カンボジアの小学校で**芸術（音楽・美術）が独立教科**となることが決まり、これまでの活動への信頼から教育省と協力して**カリキュラム開発**を行うことになりました。

支援プロジェクト

「JICA草の根技術協力事業」でJHPの「**初等科芸術教育支援事業**」が2016年からの5年計画として採択されました。

専門チームで下記の4つの目標を目指して推進しています。

1. 小学校の芸術教科の開発・普及を担当する**教育省職員の育成**
2. 小学校の**芸術教科のシラバス、生徒用教科書、教員用指導書**の作成
3. **ナショナルトレーナー**（地域トレーナーや教員を指導できる人材）の**育成**
4. **トレーナー育成研修プログラム**作成

その他に**楽器寄贈**など、現地の学校での**音楽・美術活動の継続を支援する活動**をしています。

今後、本事業の継続・発展のため、ご支援・ご協力をお願いします。

